

公益社団法人 日本天文学会 理事会議事録

日 時：2021年5月22日（土）13時00分～16時00分

場 所：日本天文学会事務所（オンライン開催）

出席理事：梅村、田村（元）、寺田（馬場）、鈴木、伊王野、鹿野、早野、長瀧、松田、酒井、富田、田村（陽）（15:10から参加）、小出、浅田、佐藤（文）、山村

出席監事：大石、関井

また、山本次期会長候補、太田次期副会長候補、久保田次期副会長候補、町田次期庶務理事候補、酒向次期会計理事候補、江草次期月報理事候補、古澤次期年会実行理事候補、生田次期広報担当理事候補、米原次期年会開催地理事候補、西次期年会開催地理事候補、北本次期年会開催地理事候補、花岡次期監事候補、奥村次期監事候補、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、出席者が15名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

I-2. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回（2021年3月15日）の理事会議事録が報告され、承認された。

II. 議題

II-1. 新規加入者および移籍（準→正）の承認（資料6、伊王野）

2021年3月10日～2021年5月19日までに正会員入会申請42名、準会員入会申請13名、移籍（準→正）4名の申請があり、賛成多数で承認された。

II-2. 名誉会員の推薦について（資料7、梅村）

岡村定矩氏を名誉会員に推薦することが提案された。岡村氏は、銀河・銀河団の形態の研究、装置開発や大規模サーベイの推進、日本天文学会第46代理事長、「シリーズ現代の天文学」の編纂、インターネット天文学辞典委員会の中心メンバー、国際天文学連合の発展等、天文学の発展・振興への特段の貢献があったことが説明された。賛成多数で代議員総会に提案することが承認された。

II-3. 日本天文学会欧文研究報告論文賞内規改訂の提案（資料8、長瀧）

日本天文学会欧文研究報告論文賞は、選考委員会において受賞候補論文を選び、その論文の全ての著者に授与されてきた。しかし、現在の内規には、受賞候補論文と受賞候補者の両方を選考すると書かれており、実態との乖離がある。論文に対して授与する賞であることを明確にした内規の改訂案が示され、賛成多数で承認された。

II-4. 年会費と年会参加費等の改訂（資料9、鹿野）

2020年12月26日に開催された理事会にて、次の改訂が提案された。正会員（一般）の年会費を18,000円から16,000円、年会参加費を3,000円（講演時は免除）から5,000円（講演時も負担）、講演登録費を3,000円から2,000円に変更すること、および正会員（学生）を10,000円から8,000円、年会参加費を3,000円（講演時は免除）から2,000円（講演時も負担）、講演登録費を3,000円から2,000円に変更する。本提案を2022年度の入会から反映させることが賛成多数で承認された。

II-5. 次期選挙管理委員の推薦について（資料 10、梅村）

第 6 期代議員から選挙管理委員の委員長 1 名、副委員長 1 名、及び委員 3 名を選出する予定である。委員候補を実務理事で議論し、次の代議員総会で提示することが提案された。賛成多数で承認された。

II-6. 第 7 期日本天文学会代議員選挙について（資料 11、梅村）

今年度予定されている第 7 期代議員選挙について、日本天文学会定款第 29 条に「概ね正会員の 50 人の中から 1 人の割合をもって選出される代議員をもって、本会の会員とする。端数については、理事会で定める。」と定められており、また代議員選挙施行細則第 2 条には「改選される代議員定数は、定款第 29 条に則って理事会で決定する。」とある。つまり、正会員の会員数に基づいて代議員の数が決まり、端数の扱いを理事会で決める必要がある。2021 年度実施の代議員選挙(2022 年 4 月からの 4 年任期)に際し、代議員定数を 2021 年 3 月 31 日 時点での正会員数 2,159 名の 1/50 である 43.18 を切り上げ 44 名とし、2021 年度に改選する第 7 期代議員数は、その半数の 22 名とすることが提案された。賛成多数で承認された。

II-7. 日本天文学会 2020 年度事業報告書の承認（資料 4、鈴木）

2020 年度の事業報告が説明され、賛成多数で承認された。

II-8. 日本天文学会 2020 年度決算書の承認（資料 5、鈴木）

2020 年度の決算書が説明され、賛成多数で承認された。

III. 報告

III-1. 日本天文学会 2020 年度監査報告（資料 3、大石）

2021 年 5 月 14 日に開催された監査の報告がされた。2020 年度の事業報告書および財務諸表が適正に作成されていることを確認したことが報告された。ただし、日本学術会議会員任命拒否問題に関する日本天文学会からの声明発出を審議する代議員総会での審議過程が、違法となる可能性があったとの指摘があったため検討した。その結果、違法とまでは言えないものの複数の不適切な点が確認された。これを踏まえ、次期理事会において「日本天文学会代議員総会運営細則（仮称）」を制定し、この細則に基づいて代議員総会を運営することが提言された。

III-2. 移籍・退会等の報告（資料 6、伊王野）

2021 年 3 月 10 日～2021 年 5 月 19 日までに移籍（正→準）25 名、正会員退会 147 名、準会員退会 57 名があったことが報告された。

III-3. 第 7 期代議員選挙について（資料 11、鈴木）

第 6 期選挙と同じく今回も電子投票を導入する。投票用紙による投票方法を設けるかどうかは選挙管理委員会と相談することが報告された。

III-4. 天文教育委員会からの報告（資料 12、富田）

天文教育フォーラムを秋季年会に向けて準備中であること、講師紹介プログラムの紹介が 3 件あったこと、ウェブサイトの更新を行ったことが報告された。また、IAU OAE の天文教育コーディネーターの日本チームについて報告された。

III-5. ネットワーク委員会からの報告（資料 13、田村陽、代読梅村）

新ホームページの運用を実施しており、最近のアクセス解析が報告された。また、会員登録フォームの障害調査が進んでいることが報告された。

III-6. 月報報告（松田）

4月号に海部氏のロングインタビューが掲載された。4、5月号にせいめい望遠鏡の特集が掲載されたことが報告された。

III-7. 年会報告（酒井、古澤）

春の年会は大きな問題なく終了した。秋季年会はオンライン開催の予定であり、公開講演会は6月中旬に開催詳細を決定する予定である。来年以降の開催地理事と調整を進めていることが報告された。

III-8. 会計理事（資料9、鹿野）

2021年度もポストク・学生の会費が免除されていることが報告された。

III-9. PASJ 理事

(i) 紙版の電子化については、仮納品まで進んでおり、現在確認作業が進んでいること、(ii) PASJのプロモーションについて OUP と意見交換していること、(iii) PASJの特集号についての議論が進んでいること、(iv) 紙版の発行部数が少なく、現状でも必要であればオンデマンドによって紙版を取り寄せるオプションがあることから、2022年から紙版を原則廃止する方向で検討していることが報告された。

III-10. 事務所の近況報告（佐藤良）：

特に大きな問題は発生していない。

[資料リスト]

資料1 理事会出欠表

資料2 公益社団法人日本天文学会理事会（2021年3月15日）議事録（案）

資料3 公益社団法人日本天文学会 2020年度 監査報告書

資料4 公益社団法人日本天文学会 2020年度事業報告書（案）

資料5 公益社団法人日本天文学会 2020年度決算報告書（案）

資料7 岡村定矩氏 名誉会員推薦理由書

資料8 欧文研究報告論文賞内規改訂の提案

資料9 年会費と年会参加費等の改定

資料10 次期選挙管理委員の指名について

資料11 第7期日本天文学会代議員選挙について

資料12 天文教育委員会より、前回理事会（2021年3月15日）以降の活動報告

資料13 ネットワーク委員会活動報告（令和3年3～5月期）

2021年5月22日

会長：梅村 雅之

印

副会長：田村 元秀

印

副会長： 寺田(馬場) 彩 印

監 事： 大石 雅寿 印

監 事： 関井 隆 印